

# 甲状腺機低下症が改善されたケース

松尾敬子  
日本ホメオパシーセンター  
埼玉日高



# はじめに

- 甲状腺低下症（橋本病改善ケース）
- 既発表※との対応関係の考察

※2019年12月 कांग्रेस

「日本におけるホメオパシーの可能性  
～甲状腺疾患など様々な病気の改善症例～」

# ケース症例

50歳

女性

主訴

甲状腺低下症  
(橋本病)

# 具体的な症状

- 体重増加
- 体の手と足の浮腫み
- 膝の痛み
- 痔の痛み
- 心臓の動悸
- 花粉症

# 相談会に至った経緯

- 4年前（46歳）**甲状腺機能低下**（橋本病）と診断される（服薬中・チラージン）
- 7年前（43歳）**下肢静脈瘤**で手術
- 体重増加で4か月前から膝が痛む
- 花粉症(15歳) **35年間服薬**
- コレステロール値 **161**(70～139)
- 中性脂肪値 **303**(35～149)
- 脂肪肝 ALT**60**(5～45)※
- CPK **1130** (基準値45～210)※

※ALT：肝臓疾患，CPK：糖を分解する酵素（筋肉・肝臓・腎臓の関係）

# クライアントの諸状況

- 出生体重： 3,400g
- 出産状況： 安産・母乳で育つ
- 予防接種： BCG・DPT・インフルエンザ7回
- 子供の罹る病気： 麻疹・水疱瘡・おたふく風邪
- 家族の病歴：

母	高血圧	父	狭心症
母母	高血圧・糖尿病	父母	高血圧
母父	リウマチ・狭心症	父父	狭心症
兄弟	妹 肝炎・膵臓炎	弟	痛風・腸重積

# 本人の性質・特徴

- 体は冷えている
- 水分はあまりとらない
- きつい服は嫌い
- 山が好き
- 運動は嫌い
- 太陽は嫌い
- 子供のころは活発
- あまり落ち込まない
- 人前で泣かない
- 入浴は好き
- 物事はてきぱきできる
- 綺麗好き

# タイムライン

- 10歳 急性肝炎
- 13歳 虫垂炎
- 15歳 花粉症発病（服薬中）
- 26歳 長女出産
- 43歳 下肢静脈瘤手術  
閉経
- 46歳 甲状腺機能低下  
服薬治療中



# 甲状腺低下症の付随症状 (後の新症状も含む)

- 体重増加
- 無気力・衰弱 (慢性疲労)
- 膝の関節痛
- 手と足の浮腫み
- 痔の痛み
- 心臓の動悸
- 頻尿 (血糖異常の徴候)
- 極度の花粉症
- 腰痛
- 脂肪肝 (肝機能問題)

「2019年12月 कांग्रेस」にて、各ケースに共通する症状の特徴より

- 慢性疲労
- 肝機能問題
- 血糖異常
- 動悸

# 相談会前の数値（薬服用）

検査項目	相談会前	基準値
TSH ( $\mu\text{IU/mL}$ ) 甲状腺刺激ホルモン	3.354	0.20～4.01
FT3 ( $\text{pg/mL}$ ) 血液中の甲状腺ホルモン	3.4	2.2～4.1
FT4 ( $\text{ng/dL}$ ) 血液中の甲状腺ホルモン	1.36	0.83～1.71

# 第1回相談会 TBR検索 2015.4.15

1 : 227# 1. 部位 - 2. 胴 - 1. 首(および喉) - 首の腺(および顎下腺:リンパ節および唾液腺) ; - 甲状腺(甲状腺腫を含む) ;

2 : 448# 2. 系統 - 2. 泌尿器 - 2. 排尿 - 頻繁な ;

3 : 1156# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 弱さ(無力症、無気力、衰弱) ;

4 : 1127# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 腫れ[腫脹] - 浮腫性の(水腫性の) - 内側部分に ;

5 : 641# 2. 系統 - 5. 心臓血管 - 1. 心臓 - 動悸 ;

6 : 305# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 2. 肛門(および直腸) - 直腸 ; - 痔 ;

7 : 283# 1. 部位 - 3. 体肢 - 2. 下肢 - 膝関節 ;

8 : 301# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 1. 内臓(臓器) - 肝臓(およびその部位) ;

9 : 1042# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 肥満(太る) ;

# 検索結果

順位	レメディール	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Calc.	9	28	2	2	4	3	4	3	3	3	4
2	Sulf.	9	26	1	2	3	4	4	3	4	2	3
3	Kali-c.	9	25	1	3	4	2	3	4	3	4	1
4	Merc.	9	24	2	4	1	3	4	1	3	4	2
5	Lyc.	9	23	1	2	4	2	4	1	3	3	3
6	Bell.	9	20	1	2	3	4	3	1	2	2	2
7	Sil.	9	17	1	2	3	1	3	1	2	2	2
8	Sep.	8	24		1	4	3	4	3	4	4	1

# 第1回相談会処方 (2015.4.15)

朝 アルポ Calc. (炭酸カルシウム)  
甲状腺低下症状・疲労困憊・動悸

昼 アルポ Tub. (結核菌)  
結核マヤズム

夜 アルポ Lyc. (苔杉)  
脂肪肝・甲状腺低下症状・動悸

随時 サポートφKojyo  
+Ham.+Vanad.+Moly.  
痔の炎症、臓器脂肪、肝臓・甲状腺

# 第1回相談会後の経過

## 【症状の変化】

- 膝関節の痛みは軽減した
- 浮腫みは無くなった
- 疲労衰弱は軽減した
- 頻尿は軽減した
- 動悸はまだある
- 花粉症のアレルギーは酷くなる
- 脂肪肝 ALT **62** (基準値5~45)

【状況の変化】 これまでの服用薬は止めた

# 第1回相談会後の検査数値

検査項目	第1回 相談会后	基準値
TSH ( $\mu$ IU/mL) 甲状腺刺激ホルモン	0.008 ↓	0.20 ~ 4.01
FT3 (pg/mL) 血液中の甲状腺ホルモン	6.6 ↑	2.2 ~ 4.1
FT4 (ng/dL) 血液中の甲状腺ホルモン	2.38 ↑	0.80 ~ 1.71

症状は緩和されてきたが、  
数値は基準値を大きく外れている

# 第2回相談会 TBR検索2016.2.17

1 : 227# 1. 部位 - 2. 胴 - 1. 首(および喉) - 首の腺(および顎下腺:リンパ節および唾液腺) : - 甲状腺(甲状腺腫を含む) :

2 : 579# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 4. コリーザ(鼻感冒、鼻カタル、鼻かぜ) - くしゃみ :

3 : 578# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 4. コリーザ(鼻感冒、鼻カタル、鼻かぜ) - コリーザ - 乾いた(鼻汁の出ない) :

4 : 22# 1. 部位 - 1. 頭部 - 3. 目 - 目全般 :

5 : 1012# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 炎症 - 粘膜の :

6 : 1043# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 閉塞した(塞がった、詰まった)感覚 - 内側部分に :

7 : 1687# 4. 基調 - 1. 基調 - 1. 時間 - 朝に :

8 : 301# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 1. 内臓(臓器) - 肝臓(およびその部位) :

9 : 641# 2. 系統 - 5. 心臓血管 - 1. 心臓 - 動悸 :



# 検索結果

順位	レメディール	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Phos.	9	23	1	2	3	3	3	1	4	2	4
2	Nat-c.	9	21	3	3	2	2	2	1	3	2	3
3	Spong.	9	17	4	1	2	1	2	2	1	1	3
4	Calc.	8	25	2	2	3	4	3		4	3	4
5	Merc.	8	24	2	3	2	3	4		2	4	4
6	Bry.	8	23		3	4	3	3	1	2	4	3
7	Nat-m.	8	23	2	2	3	2	3		4	3	4
8	Sulf.	8	22	1	2	3	4	4		2	2	4

# 第2回相談会処方（2016.2.17）

朝 アルポ Phos.（リン）

粘膜の炎症、糖尿病、結核体質

昼 アルポ Tub.（結核菌）

結核マヤズム

夜 アルポ Spong.（焼き海綿）

甲状腺、心臓、疲労

随時 サポートφ.Shinz.

+Ars-i.+Kali-s.+Brom.+Chol.

アレルギー、代謝、コレステロール、甲状腺

# 選択したレメディ

- **Tub** 結核マヤズム、関節の問題
- **Spong** 焼き海綿

RA 序文 甲状腺腫 悲嘆に暮れている  
その場で死にたいくらいである

RA135 頻尿

RA143 くしゃみ、鼻汁

RA144 鼻詰まり

# 選択したレメディ

- ロビンマールフィーMM 甲状腺腫の特効薬  
心臓の問題、関節の問題
- バナジープロトコル  
甲状腺機能低下症  
Calc・Spong・Lyc・Thujを支持

# 第2回相談会後の経過

## 【症状の変化】

- 花粉症の症状は軽減
- 疲労衰弱は無くなる
- 関節の痛みは軽減したが残る
- 頻尿の症状は無くなる
- 心臓の動悸はまだある
- 肥満
- 脂肪肝    ALT **60**    (基準値5~45)

## 第2回相談会後の検査数値

検査項目	第2回 相談会後	基準値
TSH ( $\mu\text{IU/mL}$ ) 甲状腺刺激ホルモン	23.43 ↑	0.39～4.01
FT3 ( $\text{pg/mL}$ ) 血液中の甲状腺ホルモン	2.4 ↓	2.2～4.1
FT4 ( $\text{ng/dL}$ ) 血液中の甲状腺ホルモン	0.65 ↓	0.80～1.71

症状は緩和されてきたが、  
数値の一部は基準値を大きく外れている

# 第3回相談会後の検査数値

検査項目	第2回 相談会后	基準値
TSH ( $\mu$ IU/mL) 甲状腺刺激ホルモン	40.48 ↑	0.39 ~ 4.01
FT3 (pg/mL) 血液中の甲状腺ホルモン	2.9 →	2.2 ~ 4.1
FT4 (ng/dL) 血液中の甲状腺ホルモン	0.18 ↓	0.80 ~ 1.71

症状は緩和されてきたが、  
数値の一部はさらに基準値を大きく外れている

# 第4回相談会後の検査数値

検査項目	第4回 相談会后	基準値
TSH (μIU/mL) 甲状腺刺激ホルモン	7.99 ↓	0.39～4.01
FT3 (pg/mL) 血液中の甲状腺ホルモン	3.2 →	2.2～4.1
FT4 (ng/dL) 血液中の甲状腺ホルモン	1.41 ↑	0.80～1.71

症状は緩和されてきて、  
数値は基準値内に収まるか近づく傾向になっている



# 第5回 相談会TBR検索(2017.02.17)

1 : 227# 1. 部位 - 2. 胴 - 1. 首(および喉) - 首の腺(および顎下腺:リンパ節および唾液腺) : - 甲状腺(甲状腺腫を含む) :

2 : 641# 2. 系統 - 5. 心臓血管 - 1. 心臓 - 動悸 :

3 : 301# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 1. 内臓(臓器) - 肝臓(およびその部位) :

4 : 283# 1. 部位 - 3. 体肢 - 2. 下肢 - 膝関節 :

5 : 1269# 3. 全般 - 3. 全般 - 4. 関節全般 - 関節がコキッと鳴る :

6 : 2126# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 立ち上がる - 座った状態 - から立ち上がる際:(+好転 座ると) :

7 : 1042# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 肥満(太る) :

8 : 305# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 2. 肛門(および直腸) - 直腸 : - 痔 :

# 検索結果

順位	レメディ	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Sulf.	8	23	1	4	2	4	3	3	3	3	
2	Calc.	8	22	2	4	3	3	1	2	4	3	
3	Lyc.	8	21	1	4	3	3	2	4	3	1	
4	Merc.	8	20	2	4	4	3	3	1	2	1	
5	Kali-c.	8	18	1	3	4	3	1	1	1	4	
6	Puls.	7	23		4	2	4	2	4	3	4	
7	Phos.	7	20	1	4	2	3	3	4		3	
8	Nat-m.	7	20	2	4	3	4	1	3		3	
9	Caust.	7	17	1	3	2	4	1	3		3	
10	Chin.	7	17		4	3	4	1	3	1	1	
11	Verat.	7	15		3	2	3	1	3	2	1	

# 第5回相談会処方（2017.2.17）

朝 アルポ Sulph（硫黄）

抗疥癬レメディー.肝臓.関節.痔.心臓の問題

昼 アルポ Psor.（疥癬）

疥癬マヤズム

夜 アルポ Lyc.（苔杉）

肝臓の問題

随時 サポートφShinz + Vanad. + Sil. + Kali-i.  
+ Kali-s + Horm-thyradi-D（服用薬チラージン）

体内脂肪排出・循環、代謝改善ミネラル

# 選択レメディー

- **Sulph** 抗疥癬レメディー

RA 1498 膝の痛み

RA 1225.1226 心臓

- **Psor. (疥癬) に対するレメディー**

シリカ、バリウム、黒鉛、**硫黄**、マグネシウム、  
炭酸カルシウム、亜鉛、鉄他

**慢性病論P242左7行目**

- **疥癬マヤズムの病名**

結核、リウマチ、糖尿、**甲状腺腫**、癌、他

**慢性病論P133左10行目**

# 選択レメディー

- **Lyc.**

- ロビンマーフィー 甲状腺、肝臓の問題
- バナジープロトコル 甲状腺機能低下

Lyc ・ Spong ・ Calc

CK 788 肛門に強い痒み

CK 903 鼻詰まり

CK 633～651 肝臓の問題

# 第5回相談会後の経過

## 【症状の変化】

- 心臓の動悸無くなった
- 疲労感が無くなった
- 関節の痛みも無くなった
- 心臓の動悸も無くなった

# 第5回相談会後の検査数値

検査項目	第5回 相談会后	基準値
TSH ( $\mu$ IU/mL) 甲状腺刺激ホルモン	1.09 ↓	0.20 ~ 4.01
FT3 (pg/mL) 血液中の甲状腺ホルモン	2.50 →	2.2 ~ 4.1
FT4 (ng/dL) 血液中の甲状腺ホルモン	1.16 →	0.83 ~ 1.71

全ての数値は基準値に入り、安定している

# 第5回相談会後の経過

## 【症状の変化】

- 全て正常値になり、病院は行く必要がなくなった（医師から完治を告げられる）
- 体がとても軽くなった
- 肝臓の数値は基準値に入る

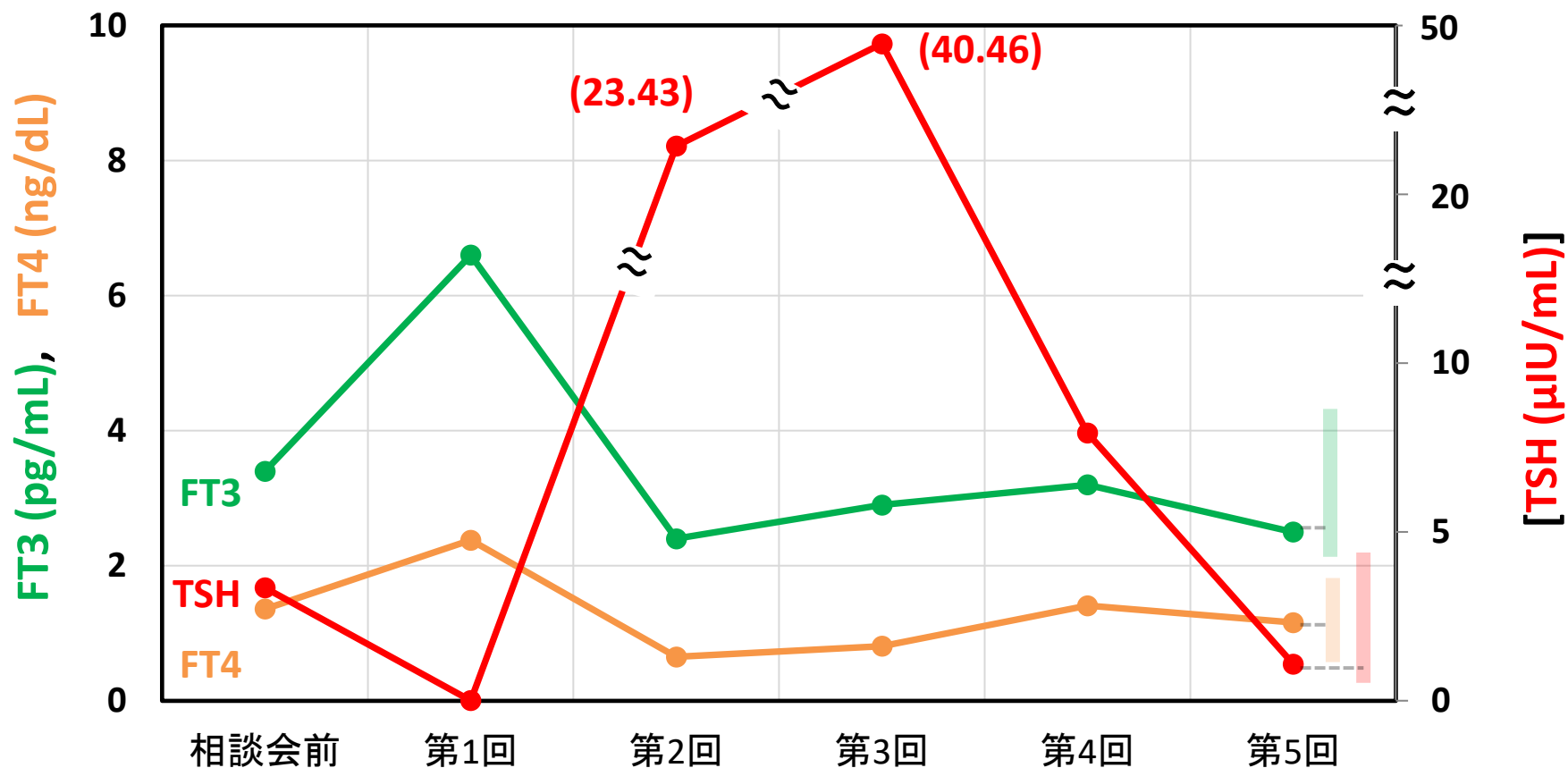
• ALT **60** ➡ **22** （基準値5～45）

• CPK **1130** ➡ **132** （基準値45～210）

※ALT：肝臓疾患，CPK：糖を分解する酵素（筋肉・肝臓・腎臓の関係）



# 甲状腺機能低下症データの推移



## 検査結果報告回

©2019 K.Matsuo & JPHMA

(基準範囲)

0.39~4.01

2.2~4.1

0.83~1.71

# 甲状腺低下症データの推移

検査項目	相談 会前	第1回	第2回	第3回	第4回	基準値
TSH (μIU/mL) 甲状腺刺激 ホルモン	3.35	0.008	23.43	40.46	7.93	0.39~ 4.01
FT3 (pg/mL) 血液中の甲状腺 ホルモン	3.4	6.6	2.4	2.9	3.2	2.2~ 4.1
FT4 (ng/dL) 血液中の甲状腺 ホルモン	1.36	2.38	0.65	0.81	1.41	0.83~ 1.71

赤字：基準値外

# 甲状腺低下症データの推移

検査項目	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	基準値
TSH ( $\mu$ IU/mL) 甲状腺刺激 ホルモン	1.09	1.59	2.83	2.83	3.60	0.39~ 4.01
FT3 (pg/mL) 血液中の甲状腺 ホルモン	2.5	3.4	3.5	3.5	2.81	2.2~ 4.1
FT4 (ng/dL) 血液中の甲状腺 ホルモン	1.16	1.41	1.41	1.41	1.22	0.83~ 1.71

第9回(2021.12)~現在も基準値内に入っている

# 検査数値

- AST 35 → 24 (基準値10～30)
- ALT 60 → 22 (基準値7～23)
- CPK 1130 → 138 (基準値41～153)
- LDL 168 → 132 (基準値70～139)
- 中性脂肪 303 → 93 (基準値35～149)

すべて基準値に入る

# 相談会後の主訴の改善の有無

• 肥満	少し改善
• 無気力・衰弱	改善
• 膝の関節痛	少し改善
• 痔	少し改善
• 肛門の痒み	改善
• 脂肪肝	改善
• 内臓脂肪	改善
• 心臓の動悸	改善
• 頻尿	改善
• 花粉症	改善



# まとめ・考察

## 【相談会に至った経緯】

- 甲状腺低下症（橋本病）の投薬治療を4年間行ってきた。数値は安定しているものの、症状を抑えてるだけの治療に限界を感じ相談会を受診

## 【相談会を通じた経過】

- レメディーを摂り始め、数値は大幅に基準値から外れた※ものの、一部症状の改善がみられた  
(※本人の意思により、服薬を中止した事が要因の可能性)
- その後、相談会を重ねるたびに、症状がより改善して行き、数値も基準値に近づいた

# 現在

- 膝の痛みや肥満は残るものの、甲状腺機能低下症の症状は無くなった。
- 数値も症状の改善後（相談会第5回目以降）、5年10か月を経過した現在も正常値を保っている。

# むすび

- 現在甲状腺病で苦しんでいる人が多くいるのが現状。いくつかの甲状腺病のケースを通して、**その主体とする精神・肉体における症状や傾向**には、**共通する症状やクライアント本人の症状**があることが窺えてきた。
- 今回のケースは、甲状腺病について経験的に培った知見に基づき考察したところ、改善に導くことが出来たケースであった。
- 今後は、同様に類似する症状の共通点や固有の特徴を見極めて、様々なケースに適応させていく。



ご清聴ありがとうございました。

